

I 概要

1) 苅田港の沿革

本港は、国の出炭奨励政策が進められていた昭和14年に、5

第2次大戦後は、一時閉鎖状態となったものの、鉄とともに
豊炭の出炭量の増大に伴い活況を取戻し、26年には重要港湾、
岡山が港湾管理者となり、29年に福岡県苅田港務所が設置され

20年代後半我が国の産業は、急速な発展を続け、それに伴
伸びを示した。海上輸送上好位置にある本港は43年に貿易港
として指定されるに及び、急速に港勢を伸ばすこととなった。

30年には九州電力(株)苅田発電所が進出したのをはじめ、セメント
操業が相次ぎ、48年にはフェリーが就航し、翌年には日産自動車
に進出した。

その間臨海工業用地（1号埋立地、昭和41年～44）、小波瀬
地（昭和47～54）、臨海工業用地（2号埋立地、昭和52～61）
45年に本港10号岸壁、48年にフェリーふ頭、52年には木材ふ
始と港湾施設の整備・拡充を図り、背後に大小の工場群を配す

59年には年間貨物取扱量も2,600万トンを超えるに至ったが、
の低迷、NIES（新興工業国）における基礎資源型工業の発展
減少、旅客フェリー航路の廃止等により59年をピークに取扱貨
経済の回復、成長に伴い63年には完成車（輸移出）及びセメント
た4年ぶりに輸入品も石炭、新規貨物等の取扱が増加すること
成9年には3,500万トンに達した。翌10年から景気低迷のあ
はおおよそ3,000万トン台で推移していたが、平成21年の取扱貨

一方、港湾の整備・拡充も着々と進められており、南港地区
10m、航路幅190mに拡幅、南港10号岸壁とともに供用開始し、
躍的に向上することとなり、現在では、耐震岸壁の整備や航路の
本港地区では平成16年8月、本港13号岸壁がアンロードと共に
貨物の取扱が飛躍的に向上した。

さらに松山地区の沖では、船舶の大型化と内外貿易貨物の増
とともに、ふ頭用地等の造成を目的とした新松山埋立工事を行
っている。

さらに、港を取り巻く状況として苅田沖に待望の北九州空港
九州自動車道（北九州JCT～苅田北九州空港IC）も開通し、
港の役割がますます大きくなるものと期待されている。

筑豊炭の積出港として国の手によって
用を開始した。

石炭が戦後復興の重点産業とされ、筑
準特定重要港湾に指定され、同年福
た。

って産業製品等の内外貿易は飛躍的な
として開港し、44年に木材輸入港とし

ント関連企業、木材関連企業等の進出、
動車(株)九州工場が小波瀬工業用地45万

工業用地（昭和42～47）、松山工業用
）等の埋め立て造成を行うとともに、
頭、54年には南港7号B岸壁の供用開
る県営の最大港湾となった。

その後の貿易摩擦による自動車産業
展による我国セメント産業の輸出量の
貨物量も減少していった。しかし、経
の（移出）の取扱が好調となり、ま
となった。その後も、順調に推移し平
りを受け減少に転じたものの、その後
貨物量は2,600万トンとなっている。

では平成11年10月、南航路を水深一
し、南港地区の利便性及び機能性が飛
300m拡幅工事を行っている。また、
に供用開始し、本港地区におけるバラ

大に対応するため大型バース等の整備
を行っている。

が平成18年3月に開港し、併せて東
陸・海・空のアクセス拠点として苅田

苅田港の

昭和

”おゆみ

” 13年 苅田港修

” 14年 内務省直

” 17年 臨海工業

” 19年 樺越棧橋

” 26年 重要港湾

” 26年 準特定重

” 29年 苅田港親

” 31年 九州電力

” 33年 石炭荷役

” 34年 臨海工業

” 35年 県営臨海

” 37年 石炭埠頭

” 39年 臨港地区

” 39年 水波瀬工

” 40年 臨港地区

” 43年 貿易港と

” 43年 門前利関

” 44年 港湾区或

” 44年 木材輸入

” 47年 門前海上

” 47年 松山工業

” 47年 財団法人

” 49年 門前棧橋

” 49年 日産自動

” 51年 苅田港港

” 51年 松山工業

” 52年 本港7号

” 52年 松山木材

” 52年 臨海工業

” 53年 石炭荷役

” 54年 南港7号

” 57年 かんだ港

” 59年 無綫検疫

” 59年 財団法人

平成3年	松山工業用地造成工事（第2工区）完成 258,000㎡
” 3年	南航路（-7.5m）供用開始
” 5年	南港5号岸壁一部（180m）供用開始
” 7年	新松山埋立事業認可（平成7年2月）
” 8年	南港5号岸壁沖側180m供用開始
” 11年	南港7号C岸壁供用開始
” 11年	南航路（-10m）供用開始
” 11年	南港10号岸壁供用開始
” 16年	松山小型船溜まり供用開始
” 16年	本港13号（-13m）岸壁供用開始
” 16年	本港13号岸壁にアンローダ設置、供用開始
” 17年	トヨタ自動車九州（株）苅田工場操業開始
” 18年	北九州空港開港
” 18年	東九州自動車道（北九州JCT～苅田北九州空港IC）開通
” 21年	磯浜緑地供用開始
” 22年	日産車体九州（株）操業開始

2) 自然状況

(1) 位置及び地勢

苅田港は、福岡県の東部北緯33度47分、東経131度0分に位置し、東は周防灘と接し背後は松山、高城山、二先山等一連の山々に接している。

(2) 地質

海底は遠浅で、表層は砂まじりの泥土で錨泊に適し、下層は礫まじりの泥土である。

(3) 気象

瀬戸内海の西に有り、気候は温暖で降雨量も少なく、海風も年間を通じて少ない。季節別特徴としては、冬季は海に向かって吹く風が多く、陸に向う風は初夏に多い。

平成21

1年風向別風速頻度表 (平成21年1月1日から平成21年12月31日まで)

	①	②
CALM	6	
N	12	6
NNE	18	2
N E	8	
ENE	13	3
E	19	10
ESE	7	
SE	9	1
SSE	14	9
S	25	4
SSW	54	9
SW	72	8
WSW	36	3
W	34	6
WNW	30	3
NW	8	22
NNW	10	17
合計	375	286

月	2月				3月				4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月			
	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④				
1	2				3				3				2				3				4				1				4				9				1			
2	17	13	2		47	13			29	13			16	19	18		26	12			15	14			34	48			54	43	12		31	15						
3	10	4			23	14			31	1			16				31	4			12	1			22	10			44	15	4		17	20						
4	12	3			22	9			32	2	1		33	2			30	3			3	14			18	9			31	13			13	6						
5	19	7	1		29	14	1		33	10	4		59	11			55	47	3		5	31	1		42	50	1		45	14			25	4						
6	39	27	5		26	37	13	1	44	10	1		45	14			42	44	1		6	3	21	4	45	79	8		45	25	1		46	8						
7	19	8	1		20	20	7		27	9	9		28	8	4		35	26	1		4	12	3		34	29			28	15	1		41							
8	16	3			23	9			22	1	4		29	7	1		22	7			3	9			29				23				20							
9	10	1	3		14	1			13				15				17	1			7				26				18				18	2						
10	41	2	2		16				19				23				14	3			10				18	1			10				23							
11	25	7	1		25	1			20	2			14	3			12	10			15	16	7		24	9			9				30	8						
12	46	23			25	36			46	9			16	15			14	39	8		13	50	8		12	6			17	10			62	24						
1	46	7			20	9	3		27	14	6		18	4			11	8			1	11	1		8	5			24	1			41	11						
2	30	20	8		30	16	6		34	24	15		30	34	1		16	20	1		1	3			21	11			23	8			43	18						
3	35	22			24	37	16	1	34	39	13		39	68	5		31	23			2	6	30	2	32	20			31	16			38	24						
4	30	18	12		27	44	5		28	37	7		37	27			26	11			2	1	12		24	11			36	13			26	26						
5	23	22			31	26			24	20	3		34	41	8		31	32			3	2	21		33	25			56	27			40	15						

(凡例 ①0~4.9 ②5~9.9 ③10~14.9 ④15~19.9)

単位：m/sec 菊田 (沖)

	12月					計
	①	②	③	④	⑤	
1						44
2	15	4	1			585
3	18	5				367
4	10	2				335
5	10	2				625
6	8	19	2			802
7	17	1				470
8	18					300
9	18	5				219
10	26					282
11	28	6				379
12	60	33	2			813
1	49	23	3			479
2	35	85	30	1		789
3	1	23	55	32	1	867
4	19	26	7			651
5	18	26	1			712

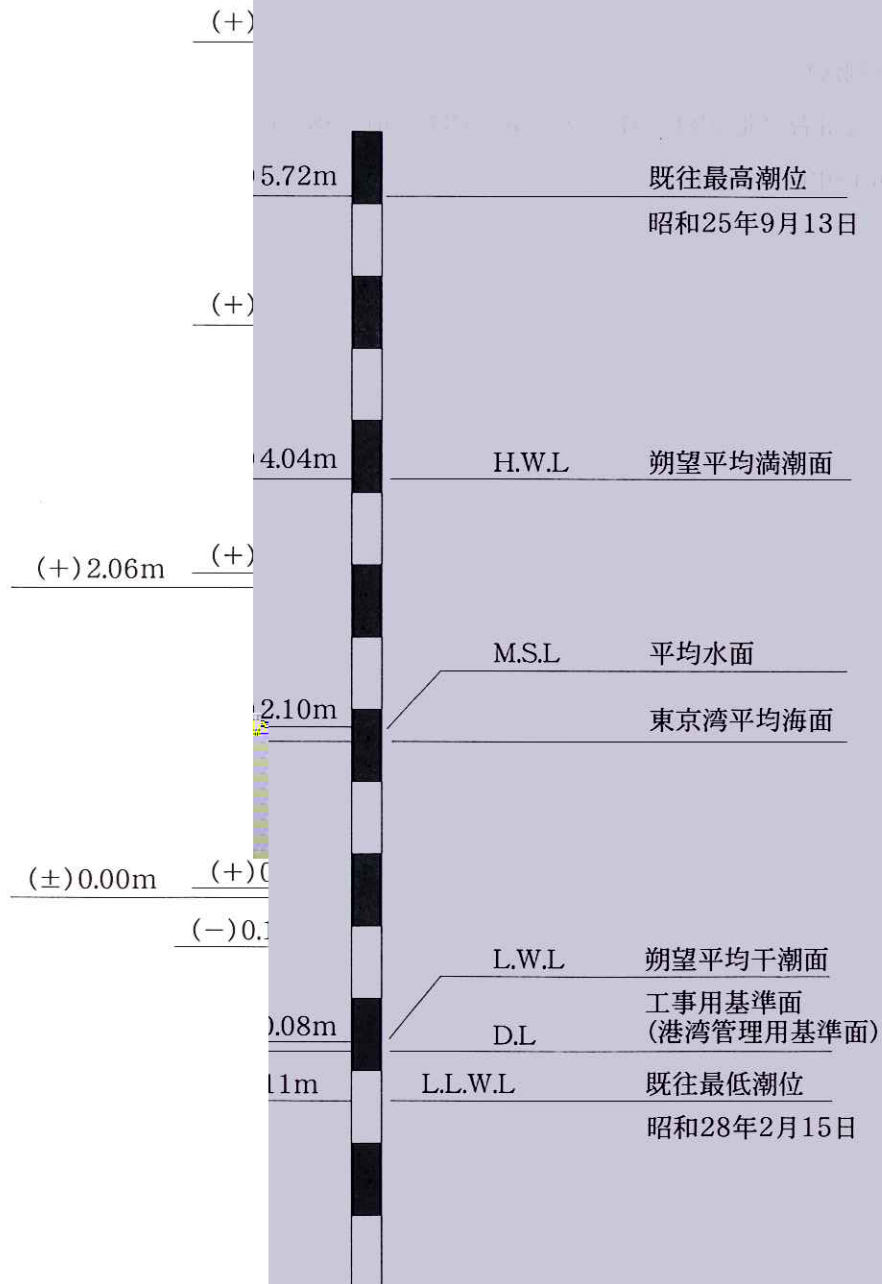
(4) 潮 流

潮流のパターンは、下げ潮に
にSSEとなり、時計廻りの
向きに流れが変っていく。流

層1~11cm/sで表層の方が、初期はESE方向に流れ出し、最強時にはSEに、さら
恒流では、表層がES方向に向きが変わる。上げ潮の初期はNWで、次第にWNWからNNWの
あった調和分析によると、この速は、下げ潮の表層4~20cm/s、上げ潮の表層5~19cm/s、底
少し速い。

(5) 潮 位

2.0~7.8cm/s、底層はそれを補う形でNW方向に0.7~4.4cm/sで
の海域の潮流は半日周期 (M₂) が卓越し、潮汐による潮流である。



3) 港湾区域

港湾区域 (港湾法)

松山三角点 (標高128.1m 北緯33° 48' 10" 東経130° 59' 17" 113) から321° 30' 370mの地点、松山三角点から19° 30' 1600mの地点、松山三角点から75° 00' 12,160mの地点、二崎三角点 (標高129.6m 北緯33° 44' 37" 444 東経130° 59' 32" 559) から52° 14,720mの地点、二崎三角点から60° 30' 4,400mの地点及び二崎三角点から40° 1,400mの地点を順次結んだ線及び陸岸に囲まれた海面。

港の区域 (港則法)

苅田港東防波堤灯台 (北緯33° 47' 49" 東経131° 00' 48") から202° 520mの地点を中心とする半径3,000mの円内の海面。

4) 港湾施設

(1) 水域施設

施設の種類	名称	位置	水深(m)	幅員(m)	延長(m)
航路	本港航路	本港10号泊地から東方港外に至るまで	-10	200~250	11,080
	南港航路	南港10号泊地から本港航路に至るまで	-10	190	2,140
	松山小型船溜まり航路	松山小型船溜まり泊地から松山A護岸北側に至るまで	-2	30	600
泊地	本港13号泊地	本港13号岸壁前面	-11.4		32
	本港10号泊地	本港10号岸壁前面	-10		166
	本港7号泊地	本港7号岸壁前面	-7.5		45
	本港6号泊地	本港6号岸壁前面	-6.5		42
	本港5号泊地	本港5号岸壁前面	-5.5		37
	本港4号泊地	本港4号岸壁前面	-4.5		97
	本港3号泊地	本港3号物揚場前面	-3		65
	南港7号A泊地	南港7号A岸壁前面	-7.5		1,250
	南港7号B泊地	フェリー埠頭先端から南港7号B岸壁前面まで	-7.5		94
	南港7号C泊地	南港7号C岸壁前面	-7.5		8
	南港5号泊地	南港5号岸壁前面	-5.5		20
	南港4号泊地	南港4号岸壁前面	-4.5		166
	松山泊地	松山ドルフィン前面	-10		71
	松山10号泊地	松山木材岸壁前面	-10		37
	本港2号泊地	幸町2号AB物揚場前面	-2		11
	南港フェリー泊地	南港フェリー岸壁前面	-7.5		70
	南港10号泊地	南港10号岸壁前面	-10		440
	松山小型船溜まり泊地	松山小型船溜まり前面	-2		23

(2) 外かく施設

施設の種類	名称	位置	延長(m)
防波堤	北防波堤	京都郡苅田町鳥越町地先	167
	東防波堤	京都郡苅田町大字浜町字神島4499番地の2北側地先	400
	南防波堤	京都郡苅田町大字浜町字神島4499番地の2南側地先	1,060
	防波堤(松山)	京都郡苅田町鳥越町地先	252
	松山防波堤	京都郡苅田町鳥越町地先	440
	松山小型船溜まり防波堤	京都郡苅田町鳥越町1番61地先	385
防砂堤	防砂	京都郡苅田町新浜町1番地の3地先	1,646
防潮堤	浜町防潮堤	京都郡苅田町磯浜町1丁目2番1号地先	44

護岸	幸町3号護岸	京都郡菟田町幸町						
	フェリーA護岸	京都郡菟田町新浜町5番地						
	フェリーB護岸	"		3		202	3.5	
	フェリー取付A護岸	"				230	11	
	フェリー取付B護岸	"				71	11	
	フェリー取付接岸護岸	"				43	3.6	
堤防	菟田堤防	京都郡菟田町幸町				30	11	
						30	4.3	
						2,022	14	

(3) けい留施設

施設の種類	名称	位置	水深(m)	延長(m)	けい留能力			
					重量(トン)	バース数	エプロン幅(m)	
岸壁	本港13号岸壁	京都郡菟田町港町23番地8						
	本港10号岸壁	京都郡菟田町港町23番地	-13	260	40,000	1	20	
	本港7号岸壁	"	-10	370	10,000	2	20	
	本港6号岸壁	京都郡菟田町港町3番地	-7.5	130	5,000	1	20	
	本港5号岸壁	京都郡菟田町港町2番地	-6.5	110	3,000	1	15	
	本港4号岸壁	京都郡菟田町港町1番地	-5.5	150	2,000	2	15	
	石炭さん橋	"	-4.5	386	700	6	15	
	南港10号岸壁	京都郡菟田町新浜町8番14	-4.5	7	700	1	—	
	南港7号A岸壁	京都郡菟田町長浜町50番地	-10	340	10,000	2	20	
	南港7号B岸壁	京都郡菟田町新浜町6番地地先	-7.5	130	5,000	1	20	
	南港7号C岸壁	京都郡菟田町新浜町8番13地先	-7.5	260	5,000	2	20	
	南港7号D岸壁	京都郡菟田町新浜町5番3地先	-7.5	130	5,000	1	20	
	南港5号岸壁	京都郡菟田町新浜町8番地地先	-7.5	200	5,000	1	30	
	南港4号岸壁	京都郡菟田町長浜町49及び地先	-5.5	360	2,000	4	15	
	フェリーA岸壁	京都郡菟田町新浜町2番251番地	-4.5	440	700	7	15	
	松山ドルフィン	京都郡菟田町鳥越町地先	-7.5	195	7,500	1	20	
	松山木材岸壁	"	-10	580	10,000	1	—	
	物揚場	本港浮さん橋	京都郡菟田町港町1番地	-10	185	10,000	2	20
本港3号物揚場		"	-3	10×2+5	—	—	—	
南港3号物揚場		京都郡菟田町新浜町7番地	-3	351	—	—	7	
松山物揚場		京都郡菟田町鳥越町	-3	180	—	—	10	
松山小型船溜場C		京都郡菟田町鳥越町1番61	-2	100	—	—	10	
松山小型船溜場D		"	-2	80	—	—	7.6	
				-2	140	—	—	6

物揚場	幸町2号A物揚場	京都府	菟田町
	幸町2号B物揚場	京都府	菟田町
	幸町3号物揚場	京都府	菟田町
船揚場	幸町4号物揚場	京都府	菟田町
	松山小型船溜まり船揚場	京都府	菟田町
	幸町船揚場	京都府	菟田町

(4) 臨港

施設の種類		交通施設	
		名称	
道路	本港1号線	京都府	菟田町
	本港2号線	京都府	菟田町
	本港3号線	京都府	菟田町
	本港4号線	京都府	菟田町
	本港5号線	京都府	菟田町
	本港6号線	京都府	菟田町
	本港7号線	京都府	菟田町
	本港8号線	京都府	菟田町
	本港9号線	京都府	菟田町
	本港10号線	京都府	菟田町
	本港11号線	京都府	菟田町
	本港12号線	京都府	菟田町
	幸町1号線	京都府	菟田町
	幸町2号線	京都府	菟田町

施設の種類	名 称	起	終
道 路	幸 町 3 号 線	京都郡菟田町幸町21番幸町1号線交	
		京都郡菟田町幸町21番幸町1号護岸	
	幸 町 4 号 線	京都郡菟田町幸町菟田堤防	
		幸町4号物揚場北端	
	幸 町 5 号 線	京都郡菟田町幸町 幸町4号線との	
		幸町3号物揚場	
	幸 町 6 号 線	京都郡菟田町幸町 幸町4号線との	
		幸町3号物揚場北端	
	長 浜 1 号 線	京都郡菟田町長浜町44番地の6地先南港	
		京都郡菟田町長浜町32番地地先南港1	
	長 浜 2 号 線	京都郡菟田町長浜町31番地地先長浜	
		京都郡菟田町長浜町29番地地先長浜	
	長 浜 3 号 線	京都郡菟田町長浜町28番地地先長浜	
		京都郡菟田町長浜町15番地地先長浜	
	長 浜 4 号 線	京都郡菟田町長浜町8番地地先南港1	
		京都郡菟田町長浜町35番地南端地先南	
	長 浜 5 号 線	京都郡菟田町長浜町35番地北端地先長	
		京都郡菟田町長浜町35番地東端地先南	
	長 浜 6 号 線	京都郡菟田町長浜町5番9長浜1号線と	
		京都郡菟田町港町本港1号線との交差	
南 港 1 号 線	京都郡菟田町富久町2丁目8番1号国道1		
	京都郡菟田町長浜町1番地西端地先本		
南 港 2 号 線	京都郡菟田町長浜町48番地の1地先南港		
	長浜護岸東端		
南 港 3 号 線	京都郡菟田町長浜町48番地の1地先南港		
	南港7号A岸壁東端		
南 港 4 号 線	京都郡菟田町長浜町49番地の1地先南港		
	南港7号A岸壁西端		
南 港 5 号 線	京都郡菟田町長浜町49番地西端地先		
	南港4号岸壁		
南 港 6 号 線	京都郡菟田町長浜町51番地中央部地先南		
	南港4号岸壁		
南 港 7 号 線	京都郡菟田町長浜町51番地西端南港		
	南港4号岸壁西端		

施設の種類

名 称

道 路

フェリー埠頭線 1号	フェリー埠頭線 2号	フェリー埠頭線 3号	フェリー埠頭線 4号	南港中央線 1号	南港中央線 2号	南港中央線 3号	南港中央線 4号	南港中央線 5号	南港2号地線 1号	南港2号地線 2号	南港2号地線 3号	南港2号地線 4号	南港2号地線 5号	南港2号地線 6号
---------------	---------------	---------------	---------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

都郡荻田 との交差点	都郡荻田 との交差点	都郡荻田 との境界	都郡荻田 との境界	都郡荻田 との境界	都郡荻田 との境界	都郡荻田 との境界	都郡荻田 との境界	都郡荻田 との境界	都郡荻田 との境界	都郡荻田 との境界	都郡荻田 との境界	都郡荻田 との境界	都郡荻田 との境界	都郡荻田 との境界
---------------	---------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

南港中央線 1号	南港中央線 2号	南港中央線 3号	南港中央線 4号	南港中央線 5号	南港中央線 6号	南港中央線 7号	南港中央線 8号	南港中央線 9号	南港中央線 10号	南港中央線 11号	南港中央線 12号	南港中央線 13号	南港中央線 14号	南港中央線 15号	南港中央線 16号	南港中央線 17号	南港中央線 18号	南港中央線 19号	南港中央線 20号	南港中央線 21号	南港中央線 22号	南港中央線 23号	南港中央線 24号	南港中央線 25号	南港中央線 26号	南港中央線 27号	南港中央線 28号	南港中央線 29号	南港中央線 30号	南港中央線 31号	南港中央線 32号	南港中央線 33号	南港中央線 34号	南港中央線 35号	南港中央線 36号	南港中央線 37号	南港中央線 38号	南港中央線 39号	南港中央線 40号	南港中央線 41号	南港中央線 42号	南港中央線 43号	南港中央線 44号	南港中央線 45号	南港中央線 46号	南港中央線 47号	南港中央線 48号	南港中央線 49号	南港中央線 50号	南港中央線 51号	南港中央線 52号	南港中央線 53号	南港中央線 54号	南港中央線 55号	南港中央線 56号	南港中央線 57号	南港中央線 58号	南港中央線 59号	南港中央線 60号	南港中央線 61号	南港中央線 62号	南港中央線 63号	南港中央線 64号	南港中央線 65号	南港中央線 66号	南港中央線 67号	南港中央線 68号	南港中央線 69号	南港中央線 70号	南港中央線 71号	南港中央線 72号	南港中央線 73号	南港中央線 74号	南港中央線 75号	南港中央線 76号	南港中央線 77号	南港中央線 78号	南港中央線 79号	南港中央線 80号	南港中央線 81号	南港中央線 82号	南港中央線 83号	南港中央線 84号	南港中央線 85号	南港中央線 86号	南港中央線 87号	南港中央線 88号	南港中央線 89号	南港中央線 90号	南港中央線 91号	南港中央線 92号	南港中央線 93号	南港中央線 94号	南港中央線 95号	南港中央線 96号	南港中央線 97号	南港中央線 98号	南港中央線 99号	南港中央線 100号
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------

施設の種類	名 称	起		幅員(m)	延長(m)
		終	点		
道 路	南港2号地線 7号地線	京都郡苅田町新浜町8番17 南港2号地4号線との交差点	南港10号岸壁	12.5	270
		南港10号岸壁			
	南港2号地線 8号地線	京都郡苅田町新浜町8番17 南港2号地4号線との交差点	京都郡苅田町新浜町8番17 南港2号地6号線との交差点	12.5	171.5
		京都郡苅田町新浜町8番17 南港2号地6号線との交差点			
	新浜1号線	京都郡苅田町新浜町8番1 南港2号地1号線との交差点	南港7号C岸壁東端	12.5	713.3
		南港7号C岸壁東端			
	新浜2号線	京都郡苅田町新浜町8番6と京都郡苅田町新浜町8番3との境界	南港5号岸壁西端	12.5	174.5
		南港5号岸壁西端			
	新浜3号線	京都郡苅田町新浜町8番2新浜1号線との交差点	南港5号岸壁	12.5	73.5
		南港5号岸壁			
	新浜4号線	京都郡苅田町新浜町8番7と京都郡苅田町新浜町8番3との境界	南港5号岸壁	12.5	175.25
		南港5号岸壁			
	新浜5号線	京都郡苅田町新浜町8番8新浜1号線との交差点	南港7号C岸壁	12.5	73.5
		南港7号C岸壁			
	新浜6号線	京都郡苅田町新浜町8番8新浜1号線との交差点	苅田町新浜町8番10と新浜町8番3との境界	12.5	100.75
		苅田町新浜町8番10と新浜町8番3との境界			
	松山1号線	京都郡苅田町若久町3丁目10番1号国道10号線との交差点	京都郡苅田町鳥越町4番地松山木村岸壁西端	20~51.7	3,880
		京都郡苅田町鳥越町4番地松山木村岸壁西端			
	松山2号線	京都郡苅田町鳥越町2番地の5水戸貯木場西端	京都郡苅田町鳥越町2番地の5水戸貯木場西端	20	200
		京都郡苅田町鳥越町2番地の5水戸貯木場西端			
	松山3号線	京都郡苅田町鳥越町1番1号松山1号線との交差点	京都郡苅田町鳥越町1番1号松山1号線との交差点	20	755
		京都郡苅田町鳥越町10番松山8号線との交差点			
	松山4号線	京都郡苅田町鳥越町1番1号松山1号線との交差点	京都郡苅田町鳥越町10番松山5号線との交差点	16	522.5
		京都郡苅田町鳥越町10番松山5号線との交差点			
	松山5号線	京都郡苅田町鳥越町10番松山3号線との交差点	京都郡苅田町鳥越町9番10北側隣接部	16	393.9
		京都郡苅田町鳥越町9番10北側隣接部			
松山6号線	京都郡苅田町鳥越町1番1号松山1号線との交差点	京都郡苅田町鳥越町1番1号苅田町清掃センター東端	12	398.8	
	京都郡苅田町鳥越町1番1号苅田町清掃センター東端				
松山8号線	京都郡苅田町鳥越町10番松山3号線との交差点	京都郡苅田町鳥越町松山水面貯木場	16	1078.5	
	京都郡苅田町鳥越町松山水面貯木場				
松山9号線	京都郡苅田町鳥越町10番松山3号線との交差点	京都郡苅田町鳥越町10番松山4号線との交差点	16	369.3	
	京都郡苅田町鳥越町10番松山4号線との交差点				
松山小型船溜まり道路 A	京都郡苅田町鳥越町1番1松山1号線との交差点	京都郡苅田町鳥越町1番61松山小型船溜まり物揚場背後	7.5	53.0	
	京都郡苅田町鳥越町1番61松山小型船溜まり物揚場背後				
松山小型船溜まり道路 B	京都郡苅田町鳥越町1番1松山1号線との交差点	京都郡苅田町鳥越町1番61松山小型船溜まり物揚場背後	7.5	39.5	
	京都郡苅田町鳥越町1番61松山小型船溜まり物揚場背後				

放

橋

放
馬

(5)

放

荷

上

(6)

施

野



施設の種類

野 積 場

施設の種類

野 積 場	名	称	
	松 山	野 積 場	松山物揚
	松 山	小 型 船	松山小型
	溜 ま	野 積 場	溜まりD物
	幸 町 1	号 野 積 場	幸町2号B
	幸 町 2	号 野 積 場	幸町2号B
	幸 町 3	号 野 積 場	幸町2号B
	幸 町 4	号 野 積 場	幸町3号B
	幸 町 5	号 野 積 場	幸町船揚
	幸 町 31	号 野 積 場	幸町3号物
貯 木 場	幸 町 32	号 野 積 場	
	幸 町 41	号 野 積 場	幸町4号物
	幸 町 42	号 野 積 場	
	松 山 水	面 貯 木 場	京都郡苅

(7) 港湾環

施設の種類の

緑 地	境 整 備 施 設		
	名	称	
	本 港	緑 地	京都郡苅
	苅 田 港	緑 地 公 園	京都郡苅
	南 港	緑 地	京都郡苅
(8) 港湾公	幸 町	緑 地	京都郡苅
	松 山	緑 地	京都郡苅
	磯 浜	緑 地	京都郡苅

(8) 港湾公

施設の種類の

その他港湾 における公 害防止のた めの施設	害 防 止 施 設		
	名	称	
	ト ラ ッ ク	洗 車 場 No. 1	
	ト ラ ッ ク	洗 車 場 No. 2	
	給 水 設 備		
	給 水 設 備		
	防 塵 柵		
	防 塵 柵		

本港13号

— 17

1個

1個

71.1m

373m

(m)

10

25

87

98

51

23

08

43

25

85

83

24

の概

、ベン

、ベン

、ベン

、トイ

連絡橋、ト

レ

レ

既 要

航路標識

標識名		位置		灯質	塗色及び構造	管理者
菟田港東防波堤灯台	北緯 東経	33-47-49.3 31-00-47.5		群閃緑光 毎8秒に2閃光	白色塔型 高さ7.8(7.75)m コンクリート造	海上保安庁
菟田港北防波堤灯台	北緯 東経	33-47-59.9 31-00-44.9		群閃赤光 毎8秒に2閃光	赤色塔型 高さ8.3(8.25)m コンクリート造	"
菟田港南防波堤灯台	北緯 東経	33-47-15.2 31-00-30.3		単閃赤光 毎3秒に1閃光	赤色・塔形 高さ5.9(5.86)m プラスチック造	"

標識名		位置		灯質	塗色及び構造	管理者
菟田港第1号灯浮標	北緯 東経	33-49-27.8 31-05-44.3		郡閃緑光 毎6秒に2閃光	緑色円筒形 やぐら形 形頭標1個付緑色 (鉄造)	海上保安庁
菟田港第2号灯浮標	北緯 東経	33-49-34.8 31-05-40.3		郡閃赤光 毎6秒に2閃光	赤色円筒形 やぐら形 形頭標1個付赤色 (鉄造)	"
菟田港第3号灯浮標	北緯 東経	33-49-08.5 31-04-43.5		単閃緑光 毎3秒に1閃光	緑色円筒形 やぐら形 形頭標1個付緑色 (鉄造)	"
菟田港第4号灯浮標	北緯 東経	33-49-16.8 31-04-40.9		単閃赤光 毎3秒に1閃光	赤色円筒形 やぐら形 形頭標1個付赤色 (鉄造)	"
菟田港第5号灯浮標	北緯 東経	33-48-44.8 31-03-31.0		単閃緑光 毎3秒に1閃光	緑色円筒形 やぐら形 形頭標1個付緑色 (鉄造)	"
菟田港第6号灯浮標	北緯 東経	33-48-52.0 31-03-27.5		単閃赤光 毎3秒に1閃光	赤色円筒形 やぐら形 形頭標1個付赤色 (鉄造)	"
菟田港第7号灯浮標	北緯 東経	33-48-19.8 31-02-17.7		単閃緑光 毎3秒に1閃光	緑色円筒形 やぐら形 形頭標1個付緑色 (鉄造)	"
菟田港第8号灯浮標	北緯 東経	33-48-27.0 31-02-13.4		単閃赤光 毎3秒に1閃光	赤色円筒形 やぐら形 形頭標1個付赤色 (鉄造)	"
菟田港第9号灯浮標	北緯 東経	33-48-06.8 31-01-38.7		単閃緑光 毎3秒に1閃光	緑色円筒形 やぐら形 形頭標1個付緑色 (鉄造)	"
菟田港南第1号灯浮標	北緯 東経	33-47-45.6 31-00-34.6		単閃緑光 毎5秒に1閃光	緑色円筒形 やぐら形 形頭標1個付緑色 (プラスチック造)	"
菟田港南第3号灯浮標	北緯 東経	33-47-21.4 31-00-19.2		単閃緑光 毎5秒に1閃光	緑色円筒形 やぐら形 形頭標1個付緑色 (プラスチック造)	"
菟田港南第4号灯浮標	北緯 東経	33-47-17.7 31-00-11.4		単閃赤光 毎5秒に1閃光	赤色円筒形 やぐら形 形頭標1個付赤色 (プラスチック造)	"
菟田港神ノ島東第1号灯浮標	北緯 東経	33-47-51.9 31-01-16.9		郡閃緑光 毎6秒に2閃光	緑色円筒形 やぐら形 形頭標1個付緑色 (鉄造)	"
菟田港神ノ島東第2号灯浮標	北緯 東経	33-47-56.0 31-01-11.1		郡閃赤光 毎6秒に2閃光	赤色円筒形 やぐら形 形頭標1個付赤色 (鉄造)	"

標 識 名		位 置	灯 質	塗 色 及 び 構 造	管 理 者
灯	浮 標 1 (本 港)	北緯 33-47-42.6 東経 130-59-26.4	単閃光 黄色 4秒1閃光	黄色特5型 アルミニウム合金	福岡県
灯	浮 標 2 (本 港)	北緯 33-47-43.6 東経 130-59-24.4	単閃光 黄色 4秒1閃光	黄色15-A型 アルミニウム合金	"
灯	浮 標 3 (本 港)	北緯 33-47-43.8 東経 130-59-21.8	単閃光 黄色 4秒1閃光	黄色特5型 アルミニウム合金	"
灯	浮 標 3 (本航路)	北緯 33-47-55.161 東経 131-00-59.508	単閃光 緑色 3秒1閃光	緑色5NC型 アルミニウム合金	"
灯	浮 標 2 (南 港)	北緯 33-47-19.86 東経 131-01-00.98	単閃光 赤色 3秒1閃光	赤色5NC型 アルミニウム合金	"
灯	浮 標 3 (南 港)	北緯 33-47-16.62 東経 131-07-07.10	単閃光 緑色 3秒1閃光	緑色5NC型 アルミニウム合金	"
灯	浮 標 4 (南 港)	北緯 33-46-49.05 東経 131-00-45.43	単閃光 緑色 3秒1閃光	緑色5NC型 アルミニウム合金	"
灯	浮 標 5 (南 港)	北緯 33-47-07.36 東経 131-00-27.71	単閃光 黄色 4秒1閃光	黄色3H9型 アルミニウム合金	"

けい船岸(専用岸壁)

名 称	管 理 者	延 長	水 深	備 考
揚 油 棧 橋	九 州 電 力 株	104m	-7.5m	ドルフィン棧橋コンクリート
1 号 棧 橋	麻生ラファージュ セメント(株)	74m	-6.0m	脚部鋼管上部コンクリート
2 号 棧 橋	"	35m	-7.5m	浮棧橋付
3 号 棧 橋	"	28m	-7.5m	脚部鋼管上部コンクリート
セメント積出No.1 棧橋	宇 部 興 産 株	86m	-7.5m	"
セメント積出No.2 棧橋	"	63m	-7.5m	鋼ぐい棧橋
原燃料荷揚No.1 棧橋	"	46m	-6.0m	脚部鋼管上部コンクリート
原燃料荷揚No.2 棧橋	"	33.5m	-4.5m	"
原燃料荷揚No.3 棧橋	"	55m	-6.0m	鋼ぐい棧橋
No. 1 棧 橋	三菱マテリアル(株)	73.5m	-4.5m	コンクリート
No. 2 棧 橋	"	47m	-6.0m	"
No. 3 棧 橋	"	61m	-7.5m	"
No. 4 棧 橋	"	185.4m	-10m	"
No. 5 棧 橋	"	115m	-6.0m	"
No. 6 棧 橋	"	202m	-9.0m	鋼抗、PC矢板
豊 鋼 材 岸 壁	豊 鋼 材 工 業 株	215m	-4.5m	鋼矢板平行式
棧 橋	太 平 洋 セメント(株)	49m	-7.5m	ドルフィン棧橋
日 産 自 動 車	日 産 自 動 車 株	300m	-7.5m	鋼矢板
"	"	230m	-10m	"

荷役機械

設置場所

本港52号野積場

本港13号岸壁

油 1 2 3 4 5 燃料 1 2 3

セメント 1 2

1 2 3 号 号 号

太 平 港

豊鋼材工業岸壁

所有者	型
福岡県	移動式荷役式
福岡県	アンローダホッパー
九州電力(株)	流量計
三菱マテリアル(株)	旋回水平引
"	シップロー込式ジブクレーン
"	シップローダー
"	シップローダー
"	連続式アンダー
"	旋回水平引ローダー
宇部興産(株)	込式ジブクレーン
"	ン
"	水平引込ク
"	レーン2号
"	3号
"	双動型ペー
"	ツ
麻生ラファージュセメント(株)	門型水平引
"	ベルトコン込クレーン
"	ンペアー
"	クレーンク
太平洋セメント(株)	ラムシェル
豊鋼材工業(株)	ベルトコン
豊鋼材工業(株)	ンペアー
豊鋼材工業(株)	クレーン

成
場
壁
橋
橋
橋
橋
橋
揚橋
揚橋
揚橋
出橋
出橋
出橋
橋
橋
橋
洋橋
壁